

2023 年度 社会教育主事課程 活動報告

1. 社会教育主事課程の履修状況と社会教育主事任用資格の取得状況

2023 年度は、2022 年度に社会教育主事養成課程が教養学部人間環境学科に開設され、5 学部 13 学科での開設となつてから 2 年目を迎えた。また、2019 年度以前の旧カリキュラムでの履修者がすべて卒業し、2020 年度以降の新カリキュラムでの履修者のみとなった初めての年度となった。2023 年度は、4 年次生 22 名、3 年次生 28 名、2 年次生 57 名、1 年次生 26 名の計 133 名が、社会教育主事課程の履修を登録し（2024 年 2 月 28 日現在）、昨年度とほぼ変わらない学生が社会教育主事課程への登録を行った。

また、2023 年度は、社会教育主事任用資格に必要となる科目の単位をすべて修得し卒業した学生は 8 名（文学部歴史学科 3 名、同日本文学科 1 名、政治経済学部政治学科 3 名、体育学部生涯スポーツ学科 1 名）であり、全員に「社会教育士（養成課程）修了証書」を授与された。

2. 社会教育実習の取り組み

（1）社会教育実習 1

2 セメスターに開講され、社会教育施設等を訪問する「社会教育実習 1」には、2023 年度は 17 名の学生が受講登録を行った。2023 年度は、下記の施設・組織を訪問し、実習を行った。

- ・横須賀市自然・人文博物館
- ・伊勢原市教育委員会社会教育課（伊勢原市立図書館・子ども科学館）
- ・町田市生涯学習センター（障がい者青年学級）
- ・相模原市立大野南公民館

昨年度からの変更点としては、相模原市立大野南公民館主催の「大野南体育祭」が復活したことに伴い、実習生が体育祭にスタッフとして参加、実習を行った。そのため、大野南公民館での実習は、大野南公民館に関する説明及び大野南体育祭に関する説明会へ参加する回と大野南体育祭本番の回の計 2 回の実習を行った。また、町田市生涯学習センター主催の障がい者青年学級での実習は、実習生を 5 グループに分け、それぞれが青年学級の活動日と前後の担当者会議に参加した。

（2）社会教育実習 2

社会教育施設等で 40 時間以上の実習を行う「社会教育実習 2」については、2023 年度は 11 名の学生が受講し、下記の施設で実習を行った。

- ・（神奈川県伊勢原市）伊勢原市立中央公民館（4 名実習）
- ・（神奈川県小田原市）おだわら市民交流センター（UMECO）
- ・（神奈川県平塚市）平塚市中央公民館、南原公民館、吉沢公民館、花水公民館、旭南公民館、金目公民館、富士見公民館、中原公民館、平塚市博物館（3 名実習）
- ・（神奈川県横浜市）横浜市社会教育コーナー
- ・（東京都西東京市）西東京市立柳沢公民館
- ・（千葉県千葉市）千葉市生涯学習センター

3. 社会教育主事課程の充実の取り組み

2023 年度から 4 年生向けの「社会教育演習」が開始された。この演習では、相模原市立大野南公民館と連携し、大野南公民館主催の「こどもまつり実行委員会」へ参加した。小学 4 年生～6 年生の実行委員 19 名と、公民館の青少年委員会、担当職員と協力して、話し合いとこどもまつりの準備を進め、8 月 6 日のこどもまつりを開催することを通じて、さまざまな関係者と協力しながら実践を行う体験を積み、方法を学ぶ機会となった。

(古里 貴士)